

様式第3号（第13条関係）

会議録

| | | |
|---------------------|---|---|
| 会議の名称 | 令和8年度第1回朝霞市立朝霞第六小学校学校運営協議会 | |
| 開催日時 | 令和8年4月24日（金）9時00分～10時30分 | |
| 開催場所 | 朝霞市立朝霞第六小学校2階校長室 | |
| 出席者の職・氏名 | 学校運営協議会委員6名 小島 孝之（校長） 前田 敏 金子 夕介 相澤 めぐみ 飯倉 康祐 小野 諒子 事務局2名 高木 智（教頭） 越後 広栄（教頭） | |
| 欠席者の職・氏名 | 学校運営協議会委員1名 渡邊 聡 | |
| 議題 | 1 令和8年度学校経営方針について 2 その他 | |
| 会議資料 | ・第1回学校運営協議会レジュメ ・第2回学校運営協議会の開催について ・4月学校だより ・学校運営協議会委員報酬等の支払いについて ・学校経営方針について | |
| 会議録の作成方針 | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録 | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 | |
| | <input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年） | |
| | 電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間 | <input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月 |
| 会議録の確認方法 校長・教頭による確認 | | |
| 傍聴者の数 | 2人 | |
| その他の必要事項 | 特になし | |

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

☆ 学校長あいさつ

○校長

- ・今年度は13名の転入・復帰職員が加わり、新体制となった。
- ・初任者3名は3～5年生に配属されている。

☆ 委員長・副委員長の承認

- ・委員長 渡邊 聡 様
- ・副委員長 前田 敏 様

1 学校経営方針

○校長

- ・SSRを上手く活用していきたい。
 - ・目指す学校像を今年度変更した。理由としては、地域とともにある、地域に開かれた学校を創りたいからである。学校応援団、PTAの協力を最大限活用していきたい。
 - ・色々と学校からお願いしているが、地域・保護者とWINWINの関係を築いていきたいと考えている。
 - ・地域に住む子供として育てていきたい。
 - ・自律する子供と探究する子供を育てていきたい。
 - ・自ら課題解決する子供を育てたい。
 - ・専門家も呼んで、子供にとって納得解のある学習を進めていきたい。
 - ・働き方改革も叫ばれているが、持続可能な学校を創り上げていきたい。
 - ・地域貢献できる朝霞第六小学校にしていきたい。
 - ・学校評価で【学校の様子が見えない】との指摘がある。保護者は自分の子供から見える世界しか触れることができない。対応策として、様々な行事等を公開していく。
 - ・昨年度は音楽朝会を公開した。
 - ・秋の公開は3日間とした。(多くの保護者に来てもらいたいから。)→学校の見える化、教育の見える化。
 - ・スクラップ&ビルドの視点で働き方改革を進める。
 - ・1年の生活科見学を廃止した。(2年生でも動物に触れる機会があるため。)
 - ・バス代金の高騰が懸念材料としてある。
 - ・子供ありきでスクラップできるところはしていきたい。
 - ・SSRが2階になった。登校できるが、教室に入ることのできない子供を支援している。
 - ・学力テスト、昨年度から独自の物に取り組んでいる。(5月と1月に同じ問題に取り組む。)変容を見取ることができるようにしている。
 - ・5月はCBTで埼玉県学力・学習状況調査が4年生以上で行われる。
 - ・新体力テストの結果に課題がある。→特に長座体前屈に課題がある。業間で体力アップ教室に取り組んでいる。
 - ・学校朝会は、対面で行う。(3学年ずつ。)
 - ・低・中学年の子供に高学年の態度を見てもらいたい。高学年は低・中学年に模範となる態度を見せてもらいたい。
- 委員
- ・プールの授業回数が少ない。増やせないか。
- 校長
- ・増やしていきたい。埼玉県からも5回を目安に指導されている。

- ・ 7週間あるので、気温、天候不順もあるが、4回は入らせたい。
- ・ 水泳は、必要感があるから教育課程に入っている。
- 委員
 - ・ 夏休み前に学校でしっかりと水に慣れてもらいたい。
- 委員
 - ・ 人員配置は可能か。
- 校長
 - ・ 学校応援団が水に入って一緒に活動していることもある。
- 委員
 - ・ 運動会、新体力テスト、6年陸上大会の練習等の調整が例年多い。
 - ・ g o o g l eカレンダーを有効活用するともう少しスムーズな対応ができそうである。
 - ・ プールに入らない子供の自習監督も対応をお願いされるが、どうしたらよいか。
 - ・ 女子児童に対応する学校応援団（父親）の取り扱いはどうするか。
 - ・ フリーで声掛けをすることも可能であるが、学校応援団との棲み分けをどうするか。
 - ・ 低学年の保護者は集まりやすいと考えられる。
 - ・ 学校応援団の縛りが無い方が人員は集まりやすい。
- 委員
 - ・ 命に関わる授業なので、多くの人員がいた方がよい。
 - ・ 腕章をつける必要がある場合は、学校応援団が対応する。学校内行事はP T Aで回せるのではないか。
- 委員
 - ・ 学校応援団の存在を把握していない保護者も多い。
 - ・ まずは、保護者に直接周知する必要がある。（来週の低学年懇談会の冒頭で周知。）
- 委員
 - ・ クラスごとに募集をかけると、クラス間格差が出てしまう。
 - ・ 必要人員を共有する仕組みを整えたい。
- 委員
 - ・ プールについては、その日の朝に調整しなければならない。
- 委員
 - ・ 保護者プラス学校応援団という形を採用した方がよいのではないか。
- 委員
 - ・ 保護者としてか？学校応援団としてか？その違いはどうなっているか。
- 委員
 - ・ 学校応援団に依頼する前に、まずは学級単位で保護者に募集をかける形がよい。足りない場合は、学校応援団にお願いする。
- 校長
 - ・ 学校応援団、保護者への協力の仕方については、再度、検討する。
- 委員
 - ・ P T Aとの連携について、もう少し広げて、祖父母を入れるのはどうか。
 - ・ 5月23日（土）に古本市を行う予定である。また、同時に読み聞かせ会も行う予定である。
- 校長
 - ・ 新座市のある学校では、保護者だけでなく、祖父母にも積極的に入ってもらっていた。例として、懇談会時の子供の預かりについて祖父母が関わっていた。
 - ・ 地域との開かれた関係＝地域に開かれた学校という認識でいる。

○委員

- ・学校応援団には、現在地域住民は含んでいない。保護者とOBのみの構成である。
- ・現在は事務局員については、差別化を図る意味でも腕章をつけている。

○委員

- ・あまりしほりをつけると、開かれた学校につながっていかない。
- ・ある程度、柔軟に祖父母までは範囲を広げた方がよい。

○校長

- ・持続可能な学校という視点では、多くの方に入ってもらいたい。
- ・打ち合わせはした上で、1年生の給食指導の応援をしてもらっている学校もある。
- ・祖父母は1年生と関わることを生き甲斐にしていた。

○委員

- ・本校卒業生とのつながりを学習につなげていくことも考えたい。保険の関係もあるため、PTAとも連携していきたい。

2 その他

○教頭

- ・第2回学校運営協議会について、5月23日（土）の学校公開日に行う予定である。